

# ラグビースクールを設立するには？ 4つのことにトライ！

未来ある子供たちにラグビーの魅力を伝え、ラグビーを楽しむ環境を作りたいとラグビースクール設立にチャレンジする方へのガイドラインです。

## 1 設立動機、理念、活動方針を掲げよう

たとえば

- 「ふれあい」をテーマに人とのつながりを大切にする心を育みます。
- Enjoy Rugby!をモットーに自分で考え、判断、行動し、友達やコーチとコミュニケーションを取れる子供を育てます。
- 地域の人々と共に活気のあるまちづくりを目指します。 など

## 2 概要を決定

- 会則の策定・指導体制・選手の募集・練習場所・入会金、会費、ジャージ、練習道具などの初期費用の試算

## 3 活動内容の策定

- 年間計画の設定（指導内容、対外試合、合宿・レクリエーション活動など）
- スポーツ安全保険等に加入

## 4 都道府県協会へ相談

- 日本ラグビー協会へのチーム登録には、スタートコーチ資格保持者がが必要です。同様に日本ラグビー協会開催の「安全・インテグリティ推進講習会」を受講することが求められます。場合によってはセーフティーアシスタントの養成やレフリーの養成など人材育成が必要になってきますので、講習会など詳しいことは各都道府県ラグビー協会へご相談ください。

アクセスはこちら(47都道府県協会)のアドレスへ

- 【関東協会】 <https://www.rugby.or.jp/link/>
- 【関西協会】 <http://rugby-kansai.or.jp/Link>
- 【九州協会】 <https://www.rugby-kyushu.jp/links.html>

関東協会



関西協会



九州協会

